

2024 年度（令和 6 年度）韮の浦学園学校運営協議会（第 2 回）

1 日 時 10 月 25 日（金）14:00～15:50

2 場 所 福山市立韮の浦学園 図書館（南校舎 2 階）

3 参加者

古山 貴規	経済産業省
根本 希望	P T A 会長
羽田 知世	さくらホーム
平岩 千尋（オンライン）	学校医
細田 暁（オンライン）	横浜国立大学
友瀧佳司之	福山市立韮の浦学園 校長

4 内 容

（1）授業参観

（2）「学校評価自己評価表」（学校の取組）説明

- ・外部人材を積極的に活用することや、芸術鑑賞や修学旅行など活動を通しての学びを充実させる。
- ・「幸せの道」について考えることで、どのようにすればみんなが幸せになれるか児童生徒が自ら考え、実行する。
- ・「韮学」を通して将来役立つ知識を身に付けさせたい。
- ・教員が子どもたちと切磋琢磨しながら一緒に学びをつくり、子どもたちの「学びが面白い」を深化させていく。
- ・子どもたちは韮学をベースに学び方を身につけていっている。
- ・子どもたちには、常に「授業を大切にすること」「目標をもって取り組むこと」を話している。また「家庭で勉強する仕組みをつくること」に力を注いでいる。
- ・子どもが自ら学ぶために何が必要か、どうやったら学ぼうとするか等、常に考えられている。

（3）学園会役員と交流会

- ・学園会役員をやってきたからこそついた力について
- ・幸せの道について
- ・韮学について

（4）質疑・応答，意見交換

- ・説明を聞いてまだまだ知らないことがたくさんあった。本の総選挙について詳細が知りたい。
- ・本を読む子と読まない子では学力の差があるのではないか。

- ・本屋が地域にないところもある。学校の本はネットではなく地元で購入するようにして本屋が存続できるようにすることも大切である。
- ・学園会の子どもたちの生き生きとした顔が見られてよかった。
- ・授業参観をして、子どもたちが寄ってくるのがうれしい。また先生と子どもたちの距離が近いことも感じた。

(5) 事後連絡

- ・次回の連絡 第3回学校運営協議会 2月10日(月) 14:00～15:50
- ・「令和6年度 地域学校協働活動コーディネーター養成講座」に参加された内容の報告